

りである

町長 森田 章造 牧後川辺 堅一

総務課長 大野 忠一 税務課長 貫井 英治 産業課長 森田 猛

土木課長 高水 求 水道課長 奥田 真

本会の書面記は左の通りである

書記 上野 重勝 日 大久保 林作

議長 (午後一時三十分) これより第二回定例会を開会いたします

議長 議案第四十五号を上げいたします

議案第四十五号 町道廃道敷の柵下げについて

書記朗讀

土木課長 本署は補助道ニ号線の内出から梓島に通ずる道路で
二十八年頃に改修したものを前から申請があったもの
でその事実となつていたものであります 坪あり一畝四

はち町の買収価格であります

オセキ柵下り 価格の安いのは前に土地を提供したとかの

関係があるか

土木課長 何れも土地の提供者であります

議長 本署にも異議はありませんか

沼場 異議なく

議長 は異議がないものとみなし、議案第四十五号は原案通り

り 決定いたします

議長 議案第四十六号を上げいたします

議案第四十六号 都費補助土木工事施行について

書記朗讀

町長 本署はかねて当初より締成の時逐次補助金の確
定をまつてその都度提呈することとを申上げましたか

その一は補助道四早線二十五万円の都補助と町費
三十五万円を加して五十五万円の路面補修工事を行
うものであります

その二は補助道八早線二十五万円の都補助と町費
三十八万円を加して四十八万円の補修工事を行うもの
であります 尚更にこれに地元負担十五万円と
町費十二万円を加い合計 六十七万円の工事となる
予定です

議長 土木委員長から報告をお願いします
中九条(土木委員長) 銀座通りの舗装工事は警察がま
じかりなかつたのですか 却から十五万円と町費から三
十五万円を加して更に延長するものを湯屋の前まじ
りする予定であります



東京都西多摩郡福生町役場

富士見町通りは中程までギリであったものを地元
と町の協力にあつて更に延長するものであります

議長 本町には異議はありますか
満場 異議なし

議長 異議はないものとみなし 議案第四六号は原案通り
決定いたします

議長 議案第四七号を上提いたします

議案第四七号 町営住宅の建設について

書記朗読

町長 町営住宅は本年三戸割当がありましたので平均一戸
十坪五合のものと三戸 工費七百五十万円余で施行
するものであります

敷地は熊川牛込に十五戸 残りは昨年の八町内

の隣に建設する予定のあります

半額国庫負担、土4却負担、土4町負担となります

議長本業には異議はありませんか

満場異議なし
議長は異議がないものとみなし議案第47号は原案通り決定いたします

議長議案第48号を提出いたします

議案第48号町道押下けにつて

書記朗読

町長本業は浅野ポールから申請があったものでありまして当初町道を工場敷地として浅野ポールに貸與してあったものをか此処に工場を建設しようとしたところ緑地地帯の国帛上予定の計画

東京都西多摩郡福生町役場
東京地方法務部登記部

が実施されるため押下けを申請してきたものであります付添道路は会社の費用で出入りのひきょうに施行することに念書が入れられていますいつでも押下価格で町道に復帰できるようには約束がしてあります

議長本業には異議はありませんか

満場異議なし

議長は異議がないものとみなし議案第48号は原案通り決定いたします

議長議案第49号を提出いたします

議案第49号昭和三十一年度福生町歳入支出追加

更正第1号につて

書記朗読

町長 本業は三十一年度才一回の追加予算でありまして支出
面はつゞきはこれ／＼の關係委員会と審議ねかつ
たもの正計敷を整理して締成したものであります
追加総額は千三百四十二万五千円でありまして大部分が
自己財源であります

一、町税 百六万五千円は一般の条例にある都市計画
税であります

三、財産収入 四十二万円は自動車押下代九万円、旧交番押
下代二十五万円、オニヤ学校旧給食場押下代八万円であり
ます

六、国庫支出金 三百五十三万九千六百円は参議院議員選挙
費補助金一万三千円、教科書補助金二万二千五百円、
住宅補助金三百四十五万六千円、基地大失出動交付金四万

八千四百円あります

七、都市基金 二百六十六万四千四百円は都市計画事業補助金五万
円、住宅補助金五十三万八千円、道路工事費補助三十二万
円、統計調査補助一〇二千四百円あります

八、寄附金 十五万円は富工見町通りの舗装工事費の地
元寄附金であります

九、繰入金 二百五十四万円は三十一年度競輪収入の繰入
金であります 合計 七百三十九万円となります

十、繰越金 二百万円は前年度繰越金であります

十一、雑収入 五万円は地価押下代でありまして玄費に
よつて希望者は配付するつもりです

十二、町債 百万円は住宅建設費に充てるものであ
ります

歳出面につきましては各委員会では審議をねかつて
ありましてその内容については各委員長から説明
をいただいたと存じます

木泉(総務委員長)二つある一につきましては二十五日の委員会に
おきまして慎重審議の上決定したものでありまして合
計は千三百四十万五千円でありまして内総務関係
は役場費の地図拂下代十万円と自動車代七十万円、
送答費二万円でありまして何れもろを案を適当とす
とめまして

又大由 教育費の扶助費は左水に支給するの
総務課長これは圖書給当法に基いて扶助をうける家庭
以外の貧困の家庭に支給するものでありまして
文部省の枠は三十七人当六百円となつており

東京都市西多摩郡福生町役場

ます

又十番 都市計画路線についてはいろいろおぼぬおり正ねが
つておりますか今どんなことになつておりますか

又九番 都市計画道路は三十一、三十二年度に亘り用地買収、
補償費は大部分すんでおります

熊山 せん貴通するのと片倉工場の正門も
通することになりませんか

議長 本案には異議はありませんか

満場 異議なし

議長 決り異議がなつものとみとめ議案第四四号は原案通り
り決定いたしました

議長 本日の議事は全部終了いたしました会議録署名
員を指名いたします

才十一番 (高橋三郎)

才十四番 (中西虎藏)

才十五番 (中森号一)

此異議はありませんか

異議なし

議長決定ソ右します

議長 (午後二時十五分) 才二回定例町議会を閉会ソ左
します

右会議の顛末を記録しその相違なりことを証する
ため茲に署名する

昭和三十一年六月二十九日

福生町議会

議長 田村利一

東京都西多摩郡福生町役場

議員 高橋三郎

議員 中西虎藏

議員 中森号一

昭和三十一年七月九日
臨時試合

収めろ



東京大学文学部図書印

福生町臨時議会々議録

昭和三年七月九日第三回福生町臨時議会を福生町役場に開会す

出席議員は左の通りである

第一番	渡井 明	第八番	田村 利一	第十六番	石川 常太郎
第二番	井上 頼太郎	第九番	村尾 四郎	第十七番	瀬古 清藏
第三番	米泉 薫	第十番	並木 秀	第十八番	大久保 一郎
第四番	石川 信義	第十一番	高橋 三郎	第十九番	西村 光人
第五番	飯野 富十郎	第十二番	中森 与一	第二十番	高橋 彦市
第六番	設楽 美知	第十三番	山下 幸三	第二十一番	番 第 田 中 西 廣 茂
第七番	森田 幸藏	第十四番	清水 与市	第二十二番	

地方自治法第三十條の規定により会議の事件説明のため議長から出席を求められ出席した者は左の通りである

町長 森田 幸造 助役 川 窪 金吉

本会の書記は左の通りである。

書記 大野忠一

議長(午後三時十五分)これより第三回臨時議会を開会いたします。

議長 議案を上提します。

町長退職申出承認について

議長 森田町長より町長選挙に立候補のため退職願が昨日提出されたりで地方自治法第四拾五条の規定によって承認したい。

議長 異議がないかを会議に諮る

異議なしの声多し

議長 異議がないものと認め原案通り承認する旨を告げる

議長 本日の議事は終了いたしました。会議録署名役員を指名いたします。

オ十六番 山下幸三

東京都西多摩郡福生町役場

東京府西多摩郡福生町役場

オ十七番 清水子市

オ十八番 石川常太郎

二異議ありませんか

異議なし

議長 異議ないものと認め決定いたします。

議長 (午後三時三十分)第三回臨時議会を閉会いたします。

右会議の顛末を記録しその相違ないことを認め証するため茲に署名する。

昭和三年七月九日

福生町議会議長 田村利

議員

清水子市

石川常太郎

町長退任申出承認について

町長森田幸造より町長選挙に立候補するため退任の申出
があったので地方自治法第百四十五条によりこれを承認するものとす

昭和三十一年七月九日

福生町議会